

不祥事防止への取り組み

取手市立白山小学校

校長 竹久 武志

社会は、信用・信頼で成り立っています。教職員による不祥事は、その信用・信頼を失墜させる重大な問題であり、何としても根絶しなければなりません。私たちは、子供たちに、保護者に、地域の方々に信用・信頼される学校を目指し、本校から絶対に不祥事に関わる職員を出さないという覚悟をもって教育活動にあたります。子供たちの笑顔とよりよい成長のために、コンプライアンス意識を高くもち、全職員で不祥事防止のために、次のような取り組みを行っていきます。

1 学校の不祥事防止体制を強化します。

組織として不祥事防止を図っていくためには、職員個々のコンプライアンス意識の高揚と職員相互の情報共有が大切になります。そこで、職員一人一人がコンプライアンスに関する目標を立て実践するとともに、管理職や同僚との情報共有を確実にするために情報の報告・連絡・相談・確認を徹底し、問題に対して組織で対応します。また、組織的な校務分掌体制の基、改善をしながら協働して教育活動を進めていきます。

2 自分事として考え、組織で取り組むコンプライアンス研修を実施します。

不祥事防止には、個々の職員が教育公務員としての自覚をもち、コンプライアンスについて平素から意識して行動する必要があります。そのためには、コンプライアンス研修の充実が欠かせません。そこで、個々の職員が問題を自分事として考えるボトムアップ型研修と事実をしっかりと理解し、組織としての取組を強化するトップダウン型研修を計画的に行っていきます。適宜、不祥事防止のためのチェックリストを活用し、振り返りを行うようにします。

3 不祥事防止のためのルール・環境づくりを行います。

組織として不祥事防止に取り組むためには、何を根拠にどのような行動をとればよいかを全職員が知っておく必要があります。多岐にわたる不祥事の未然防止のために、各事案におけるルールづくりをしていきます。例えば、学校徴収金取扱要項や個人情報取扱要項に従って組織で対応することや、個人所有のスマホを校内使用ルールに従って使用すること等です。また、不祥事の未然防止のための校内環境づくりも進めていきます。例えば、密室にならない空間づくりや定期的な巡視による不審物の監視等です。

4 風通しのよい職場環境づくりを行います。

人間には、ストレスや悩みがつきものです。それが不祥事の起因にならないよう、良好な職員間の関係をつくっていかねばなりません。学年やブロック、部会等で受容的・共感的な関係を意識し常に組織的な教育活動を行うとともに、その中で悩みを一人で抱え込まない、気軽に相談のできる心地よい職場環境をつくります。また、管理職が教員評価面談や日頃の面談を通して、悩みについて一緒に考え、具体的な解決方法をアドバイスするなど、職員への支援をしていきます。